

レジャーダイビング認定カード普及協議会  
(Cカード協議会)  
2010年3月定例会議議事録

◎ 開催期日：2010年3月26日（金） 午後16時00分より

◎ 開催場所：(株)PADI JAPAN 会議室

◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社エヌズ	星寄	浩一
☆CMAS=JEFF	株式会社ジェフ	後藤	勝之
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	市原	隆久
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆STRAS	水中活動研究所有限会社	岡本	康男
☆オブザーバー	静岡県ダイバーズ協議会	渡辺	守
		土屋	英二
	JPインターナショナル	田中	大祐

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① 第一号議案：2010年事業計画

- 看板設置について、事務局から提案された看板案3案の内、文字バランス等を考慮し、初期に提案されたデザインを起用する事となった
  - BSAC星寄氏の希望により、BSACのロゴマークを上段右端に配列する事となった。
- ポスター制作について、事務局提案のデザインにセーフティダイバー宣言カードの両面写真と簡単な説明を掲載する事となった。
  - ポスターの製作が完了次第C協WEBに掲載し、各会員に所属する登録店が各自ダウンロードし、活用できるように図る事となった。
  - 今後、セーフティダイバー宣言カード専用のポスターも製作していく事となった。

② 第二号議案：ガイドダイバー認定制度

- Cカード協議会としての見解
  - そもそもCカード協議会は、アマチュアからプロまでのダイバー認定機関の集まりであり、プロダイバー認定については、WRSTCを基盤としたC協の指針がある為、同指針に基づく見解を対外的に理解しやすく整理して文章化する事で、これをCカード協議会の見解として広く公示していく事となった。
  - 文章作成は事務局で行う事となった。

③ 第三号議案：その他

- ダイバー認定コースの旅行商品については、第二号議案の決議事項に基づき、旅行業界にも公示していく事となった。
- マリンダイビングフェア、レジャーダイビング産業協会ブース内のC協紹介パネル掲示については、マリンダイビングフェア事務局より、レジャーダイビング産業協会ブース内へのパネル掲示は、ブースの又貸し行為となる為許可できないとの連絡があり、代替案として無償で別のスペースを提供してくれる事となった。
  - 事務局は4月1日必着で、C協紹介パネル二枚をマリンダイビングフェア事務局奥山氏に送る事となった。

以上